

神奈川県 WHOエイジフレンドリーシティ推進オンラインセミナー

～健康な高齢化を実現するための新たなアプローチ～

神奈川県は超高齢社会を乗り越えるため、ヘルスケア・ニューフロンティア政策を推進し、世界保健機関（WHO）と連携しながら健康な高齢化に向けたイノベーションの促進や新たな知見の共有等に取り組んでいます。

WHOが推進する「高齢者のための包括的ケア（ICOPE）」は、病気に焦点を当てるのではなく、運動・認知機能などの能力を把握して、総合的な支援を行う枠組であり、高齢者に関わる様々な組織・機関等にとって参考になるものです。また、WHOは昨年12月に慢性腰痛に関するガイドラインを作成して、腰痛を、高齢者の移動能力を制約し、社会参加の能力にも影響を与える、重要な公衆衛生の課題としています。

そこで、WHOや学術機関の協力も得て、ICOPE及び慢性腰痛管理、さらに演劇手法を用いた健康教育プログラムなどについて、神奈川県内の自治体や高齢者施設、地域コミュニティ等に対してオンラインセミナーを開催します。

開催日時：2024年3月25日(月)15時30分～17時(ZOOM)

- 主な対象者：市町村の高齢者施策担当者／自治会など地域コミュニティの方／高齢者施設等の職員／介護分野を学ぶ学生、機能の維持や低下の防止に関心のある中高年層
- 主な登壇者：



角 由佳
WHOメディカルオフィサー／
神奈川県顧問・神奈川県立
保健福祉大学招聘教授



兪 炳匡（ユウ ヘイキョウ）
神奈川県立保健福祉大学
教授

※プログラムは裏面



お申込み



https://zoom.us/webinar/register/WN_7x9CGq_xjT4me8tUyoW-wqg

左記二次元コード又は上記リンクからウェビナーにご登録ください。

申込み期日：3月21日(木)

<主催> 神奈川県

～健康な高齢化を実現するための新たなアプローチ～

プログラム

2024年3月25日(月)15時30分～17時 (ZOOM)

15:30-15:35 開会

挨拶：神奈川県知事 黒岩 祐治（ビデオレター）

15:35-16:00 高齢者のための包括的ケア（ICOPE）の意義及びそれに係る慢性腰痛管理

講演：WHO 母子・新生児・思春期保健及び高齢化部
角 由佳 メディカルオフィサー

講演者プロフィール

京都府立医科大学医学部卒業、大阪大学で医学博士取得。ハーバード大学医学部に留学。順天堂大学医学部救急災害医学及び同ジェロントロジー講座先任准教授を経て、2016年6月から神奈川県庁勤務。同年12月に県からWHOに派遣。2020年9月からWHOの職員となり、同年10月から神奈川県顧問、2021年9月から神奈川県立保健福祉大学招聘教授。

16:00-16:25 県内自治体のエビデンス分析により得られた知見と他自治体の通いの場分析事例

講演：日本老年学的評価研究機構（JAGES）

- ①横山 芽衣子 千葉大学予防医学センター特任研究員
- ②井手 一茂 千葉大学予防医学センター特任助教

講演者プロフィール①

2012年京都府立大学大学院修了（学術博士）。管理栄養士、健康運動指導士として従事したのち、2016年より千葉大学予防医学センター特任研究員、2019年よりJAGES機構研究員。

講演者プロフィール②

2020年千葉大学大学院修了（医学博士）。同年、千葉大学予防医学センター社会予防医学部門特任研究員に着任し、2022年、同部門特任助教。2023年、健康まちづくり共同研究部門特任助教。

16:25-16:55 演劇手法で行動変容を促す健康教育プログラム

講演：神奈川県立保健福祉大学・早稲田大学（兼任）
兪 炳匡（ユウ ヘイキョウ）教授

講演者プロフィール

北海道大学医学部卒業後、ハーバード大学より修士号、ジョンズ・ホプキンス大学より博士号（PhD）取得。スタンフォード大学医療政策センター研究員、米国疾病管理予防センター（CDC）エコノミスト、ロチェスター大学助教授、カリフォルニア大学デービス校准教授で、医療経済学の研究と教育に従事。2020年から神奈川県立保健福祉大学教授、2023年から早稲田大学教授兼任。

16:55-17:00 閉会

主催・お問合せ

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室
TEL 045-210-2720（国際戦略グループ）